

○福島町行政評価実施要綱

平成22年5月10日

要綱第9号

改正 平成27年7月21日要綱第10号

平成28年5月18日要綱第12号

令和2年1月31日要綱第1号

(趣旨)

第1条 この要綱は、福島町まちづくり基本条例(以下「まちづくり基本条例」という。)第20条第2項に規定する行政評価を行うため、事業の目的や役割、効果を検証し、町民と職員との共通認識のもとで、効率的な事務事業への見直しなど、改善を図るための行政評価実施(以下「行政評価」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(庁内評価委員会の設置)

第2条 行政評価の実施にあたり、その適切な推進のため、庁内評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

2 前項に掲げる評価委員会は、副町長、教育長及び各課長等をもって構成する。

(評価対象事業)

第3条 行政評価の対象事業は、一般会計のすべての事務事業とし、毎年度、庁内評価委員会が示す選定基準による。

(評価の実施主体及び方法)

第4条 行政評価は、次に掲げる手順に従い、毎年度実施するものとする。

(1) 1次評価 各担当課長等は、事務事業評価シート(別記様式第1号)により、それぞれが所掌する事務事業について評価し、その結果を評価委員会に報告するものとする。

(2) 2次評価 2次評価は、評価委員会が、前号により報告された評価結果をもとに全庁的な視点から評価を行い、町長に報告するものとする。

(3) 外部評価 外部評価は、福島町総合計画審議会が町民の視点から評価を行うものとする。

(評価結果の公表)

第5条 町長は、毎年度、評価結果を町広報及びホームページなどにより公表するものとする。

(町民意見)

第6条 町民は、町長に対し、行政評価の結果及び評価制度について意見を述べることができる。

(決算説明資料)

第7条 町長は、福島町議会基本条例第10条第2項に基づき、行政評価に関する資料を議会へ提出するものとする。

(評価結果等の反映)

第8条 町長は、評価結果及び町民の意見を尊重するとともに、事務事業の改善又は見直しを行い、まちづくり基本条例第16条第2項の規定に基づき、町の施策の推進に反映させるよう努めるものとする。

2 町長は、評価結果等を、予算編成へ反映させるよう努めるものとする。

(庶務)

第9条 行政評価に関する庶務は、企画課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、行政評価の実施に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年7月21日要綱第10号)

この要綱は、公布の日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則(平成28年5月18日要綱第12号)

この要綱は、公布の日から施行し平成28年4月1日から適用する。

附 則(令和2年1月31日要綱第1号)

この要綱は、公布の日から施行し、平成31年4月1日より適用する。

年 月 日 作成		担当課(部局)	グループ名			
事務事業名		施策コード				
施策の体系	大項目	法的根拠等	法 令	条 例	その他	
	中項目					
	小項目	実 施 方 法	直 営	委 託	その他	
	財務名称					
事業概要						
事業の目的	(1) 対象(誰を、何を対象としているのか)		(3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか)			
	(2) 意図(対象をどのような状態にしたいのか)					
1 必要性	(1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計		点			
		①法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点	
		②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	※内部管理・運営等の事業。(点数対象外)		
		③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。		
		④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点			
		⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補充する事業。	1点			
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計		点			
		①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容が手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)		
		②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。		
		③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になつてきている。	1点			
	④限られた財源の中にあつても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点				
	追加事由	1点				
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計		点			
		①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。		
		②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点			
		③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点			
	④町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点				
3 達成度	(1) 達成度の測定 計		点			
	区分	指標(算式)	年度実績	年度実績	年度実績	年度当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① (算式)				
		指標② (算式)				
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① (算式)				
		指標② (算式)				
		①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。		
		②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点			
		③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点			

4 効率性	(1) 事業費の推移		計	点																																																																																																																																																								
	区分	単位	年度決算額	年度決算額	年度決算額	年度事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																																				
	事業費	千円					低下している	1点																																																																																																																																																				
	国・道費	千円				区分 金額	変わらない	0点																																																																																																																																																				
	地方債	千円					上昇している	-1点																																																																																																																																																				
	その他	千円					説明																																																																																																																																																					
	一般財源	千円			その他																																																																																																																																																							
	(2) 手法の効率化		計	点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																																							
	①現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。			1点																																																																																																																																																								
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。			1点																																																																																																																																																								
	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。			1点																																																																																																																																																								
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	<table border="1"> <caption>項目別点数表</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 効率性</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性		2 有効性		3 達成度		4 効率性		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="10">必要性+有効性</th> <th rowspan="2">高 達成度+ 効率性 低</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td>⊙</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td> </tr> </tbody> </table>				必要性+有効性										高 達成度+ 効率性 低			0	1	2	3	4	5	6	7	8~					⊙					A			6													5													4													3													2													1										B			0													-1													-2
	項目	点数																																																																																																																																																										
1 必要性																																																																																																																																																												
2 有効性																																																																																																																																																												
3 達成度																																																																																																																																																												
4 効率性																																																																																																																																																												
		必要性+有効性										高 達成度+ 効率性 低																																																																																																																																																
		0	1	2	3	4	5	6	7	8~																																																																																																																																																		
				⊙					A			6																																																																																																																																																
												5																																																																																																																																																
												4																																																																																																																																																
												3																																																																																																																																																
												2																																																																																																																																																
												1																																																																																																																																																
									B			0																																																																																																																																																
												-1																																																																																																																																																
												-2																																																																																																																																																
担当課評価	<p>※上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>※評価は、次のA~Dによります。</p>																																																																																																																																																											
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																																											
	現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続																																																																																																																																																										
	B 事業の進め方の改善により継続																																																																																																																																																											
	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																																										
	事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善																																																																																																																																																										
	事業内容の一部見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																																										
	C 事業規模・内容等の見直しの検討																																																																																																																																																											
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																																										
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																																										
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他																																																																																																																																																										
D 事業の技術的見直しを検討																																																																																																																																																												
廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																																								
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響		⇒	廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他																																																																																																																																																						
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。			今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																																								
二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																																						
		D 事業の技術的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																																				
説明																																																																																																																																																												
三次評価	外部評価	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																																						
		D 事業の技術的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																																				
説明																																																																																																																																																												

別記様式第1号